

図書館だより 2月号



平成29年2月6日発行 川島中学校・高等学校図書館

☆ 2016年 年間ベストセラー決定! ☆

昨年1年間に、全国の書店でよく売れた本のリストです。
順位の前に★印がついている本は、図書館にあります!

順位	書名	著者名	出版社
★ 1	天才	石原慎太郎	幻冬舎
2	おやすみ、ロジャー 魔法のぐっすり 絵本	カール＝ヨハン・ エリオン	飛鳥新社
★ 3	ハリー・ポッターと呪いの子	J.K.ローリング	静山社
★ 4	君の臍臓を食べたい	住野よる	双葉社
★ 5	嫌われる勇氣	岸見一郎	ダイヤモンド社
6	どんなに体がかたい人でもベターッと 開脚できるようになるすごい方法	E i k o	サンマーク出版
★ 7	羊と鋼の森	宮下奈都	文藝春秋
★ 8	コンビニ人間	村田沙耶香	文藝春秋
9	正義の法	大川隆法	幸福の科学出版
10	新・人間革命 (28)	池田大作	聖教新聞社
11	つくおき 週末まとめて作り置きレシピ	n o z o m i	光文社
★ 12	火花	又吉 直樹	文藝春秋
13	超一流の雑談力	安田正	文響社
14	言っではいけない	橘玲	新潮社
15	結局、「すぐやる人」がすべてを手に入れる	藤由達蔵	青春出版社

(日本出版販売株式会社調べ)

リストにのっていない本でも、読んでみたい本があれば、リクエストしてください。本の貸出・返却カウンターに“リクエスト用紙”を置いてあるので、その用紙に記入して提出してくださいね。

県立図書館から借りることもできますよ~!! (マンガ、雑誌以外ならできる限り手配します。)

みなさんからのリクエストをお待ちしています!

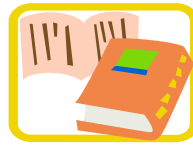


新しく入った本

- ・つれづれ、北野坂探偵舎 2 河野裕／著 KADOKAWA
徳島市立高校出身の河野さん。サクラダリセットや階段島シリーズでも人気です。ほっこりする探偵物語です。
- ・憲法と君たち 復刻新装版 佐藤功／著 時事通信社
憲法制定から70年。憲法を知りたい子どものために、わかりやすく大きめの文字で書かれています。もちろん、高校生、おとなにもおすすめです。
- ・朝日キーワード2018 朝日新聞出版／編集発行
朝日新聞の記者が解説する現代社会を知るためのキーワード集。英国のEU離脱、トランプ大統領、憲法改正など、小論文対策必須!!
- ・骸骨考 ^{がいこつこう} イタリア・フランス・ポルトガルを歩く ^{ようろうたけし} 養老孟司／著 新潮社
解剖学者・養老先生がヨーロッパの墓地めぐり...ミラノの骨でかざりつけられた教会やソルフェリーノの納骨堂、パリのサン・ドニ大聖堂など、写真付きです。
- ・世界に誇る鳥獣戯画と日本四大絵巻 ^{ちようじゆうぎが} 山口謠司／監修 ^{ちようじ} メディアソフト
「うさぎとかえるのすもう」が有名な鳥獣戯画ですが、さるのお坊さんやきつねの親子も出てきますよ~。ほかに、日本四大絵巻といわれる「伴大納言絵巻」「源氏物語絵巻」「信貴山縁起絵巻」も紹介しています。



クラス読書会感想文（2）



2学期に実施したクラス読書会感想文を、^{ぼつすい}抜粋して紹介します。

☆ 黒猫 E・A・ポー／著（「黒猫・黄金虫」所収 新潮社）

子どもの頃からおとなしくて情け深い性格で知られていた男は、とりわけ動物が好きだった。大人になりプルトゥウという黒猫に出会うが、酒におぼれた男は、プルトゥウと妻を殺してしまうのだった。

私も家で黒猫を2匹飼っているのですが、猫のしぐさや特徴が細かく書かれた描写にひきこまれました。猫の愛らしい行動とは逆に、男の激しい憎悪や怒りがつのっていく場面では、どんどんすれ違っていく様子に、動物と人間との間にある大きな壁を感じました。プルトゥウと同じような黒猫を探したのも、妻のことを気の合う友だちと記したのも、愛していたからだと思いました。男の人生は常に不幸ではなく、幸せな時間があったということをおぼれたいと思います。 41HR 女子

☆ 走れメロス 太宰治／著 講談社

人を信じることができない王ディオニスに心を改めさせ、処刑される自分の身代わりとして人質になった友人セリヌンティウスを救うために、メロスは走り続ける。

人質になったセリヌンティウスを救うため、どれだけ自分の体が傷つこうとも走り続けるメロスに感動しました。もし、自分がメロスだったら、暴君ディオニスの言葉に負けて、友を裏切って自分が生き延びる道を選んでいたいと思います。

また、セリヌンティウスも、人質になってくれというメロスの頼みを無言で了解した場面に、メロスのことを本当に信頼しているんだと感じました。僕なら、自分のことを人質にしたメロスのことを、うらみ、憎んでしまうと思います。

42HR 男子

☆ 勝とうとするから意味がある 阿部夏丸／著 （「父のようにはなりたくない」所収 ブロンズ新社）

小学四年のナオは、子ども会のソフトボール大会に向けて練習をしている。父の登志雄は、そのがんばる姿に感激するが、ほかの母親たちは、大島監督が勝ち負けにこだわりすぎて問題だと言っていた…。

子ども会のソフトボール大会は、楽しむためということも必要だと思うけれど、僕は、父親が言っているように、するからには勝ちたいと思う。たしかに子ども会なのに「バカヤロー」はダメだと思うけど、監督は、それだけ子どもたちに勝たせてやりたい、勝つうれしさや喜びを感じてほしいと思っていると思う。

一生懸命目標に向かって真剣に取り組むことによって、終わった後の達成感だったり思い出だったりがあると思う。達成感があるからスポーツは楽しいと改めて思ったし、自分もがんばろうという気持ちになった。 44HR 男子

☆ パニック 開高健／著（「パニック・裸の王様」所収 新潮社）

突然、大繁殖したネズミの駆除に追われる公務員と、保身にまわる上司。対策は効果がなく、人々はおびえ、政治問題にまで発展する。

現在の社会の縮図のような話だった。はずれた時の攻撃を恐れて部下の進言をうやむやにする上司、そのくせ当たったとたんに、それを引っ張り出してきてまつりあげ、危なくなれば死なばもろとも考えで、部下を巻き込もうとまでする。読んでいて、ネズミがどうこうというよりも、人間の意地汚さにゾッとした。

集団心理についても書かれていて、ネズミによるとてつもない被害という非現実的な内容にも関わらず、とても現実的な話に感じられた。

62HR 男子

☆ 愛すること 樋口恵子／著（「私の青春ノート」所収 ポプラ社）

「愛する」とは、自立した人間にはじめて可能な感情である。結婚とは、決して二人三脚であってほしくない。女性の自立、そして、男性の本当のやさしさとは何か。

自分自身、何が愛なのかよくわからないけれど、「他者の痛みがわかる人間、それをうけ入れ、共感し、その人のために何かできる人間、それが人を愛することのできる人間である。」本当にそうだなと共感しました。自分ばかり愛されたいと思っている人は、他人のことなんて考えられないと思います。

人間が「愛」に敏感なこと、愛を思いすぎてもダメなこと、人は「優しさ」が相手を選ぶのに大事なこと、「優しさ」が社会を変えること。まだ、「愛」についてわからないことだらけなので、もっと「愛とは」ということについて知りたいと思いました。

64HR 女子